ほっとメール

誰もが健康で居心地よく　くらせるまちづくり

神奈川みなみ医療生協
組織部
2026 年 6 月 16 日
第 648 号

「いつでも元気」を読もう

神奈川民医連では 9 月 30 日まで、民医連の雑誌「いつでも元気」の購読キャンペーンを実施中です。

『いつでも元気』は 1991 年創刊で、民医連と共同組織をつなぐ機関誌として親しまれています。これまでまちづくりの担い手を育てる役割を果たしてきました。誌面では全国の医療・介護の実践、「安心して住み続けられるまちづくり」の多彩な活動、社会保障、憲法・平和、いのちとくらしの問題などの情勢解説が、わかりやすく、コンパクトにまとめられています。職場学習や共同組織の学習会でも活用できる、民医連運動の必携テキストです。

神奈川みなみ医療生協では 9 月 30 日までに、購読者を 10 人増やす目標を掲げ、キャンペーンを実施しています。職員・組合員の皆さん、この機会にぜひいつでも元気を読みましょう。

水害の映像を見学した。4日間で1年分降水量の40%の雨が降り、死者183人、家屋倒半壊戸数3800戸、総被害戸数8万3000戸、被害額は今の金額で600億円でした。

現在は排水は良くなりましたが、逆に下水道からの内水氾濫という逆流浸水があります。逆流を防ぐには、排水口を水を入れたビニール袋でふたをし、さらにドアの下からの浸水を防ぐことも大切。北九州市は雨水タンクの設置に上限2万円の助成があります。（前田雅博）

古都鎌倉でウオーキング
神奈川みなみ医療生協

3月6日に北鎌倉・鎌倉市でウオーキングを開催、職員と組合員37人が参加しました。

北鎌倉駅に集合し、二つのグループに分かれて東慶寺・浄智寺・円覚寺を訪問しました。観光ガイドからお寺や仏像の話を聞きながら、2時間半かけて歩きました。スイセンやモクレンをはじめバイカオウレンや雪割草などの花を見つけては止まるので、ガイドとの距離が遠くなることもしばしば。

「梅は終わったけれど、これから桜が楽しみだよね」などと言いながら、思い思いに境内を散策。歩数は7000歩を超えました。（片倉博美）

1冊で何度もおいしい
滋賀・膳所診療所

毎月第二木曜日に、膳所診療所（大津市）に併設する通所リハビリ「げんき」で「いつでも元気」読者会「PPK（ピンピンコロリの略）」を開催しています。

メンバーのお気に入りは誌面に掲載されたおやつの再現。2

いつでも元気 MIN-IREN 2026.6　32

いつでも元気 6 月号に　神奈川みなみ医療生協の記事が掲載されました

＊各事業所の取り組みをお寄せください。ニュースで紹介させていただきます。　h-sosiki@k-minami.or.jp